

用水の保全、 公園と市民農園の運用について

市民サイド 森 喜行

●市内3用水の保全…主に砂川用水について、歴史的、民俗学的、更に生態系保護の観点から市の環境基本計画の具現化にあたって隣接する農家や動植物についての調査の実施と護岸補修方法等の検討を求めました。玉川上水からの導水について、立川市などと結んでいる砂川用水連絡協議会を通じて現在日量千トンの水を増やすよう、東京都への要請を求めました。また、砂川用水と、計画中の都市計画道路3・2・8号線の交差部に、地域と用水の関係を示す空間をつくるよう都への要請を求めました。

●公園の管理について…夏場の安全対策として緊急雇用創出事業の活用による青色防犯パトロールが夜10時に終了するため、深夜の運用の可能性を質しました。また、公園のトイレは緊急時のシェルターの役割と同時に犯罪者に利用される危険もあり、防犯ブザーの設置、また、東京消防庁に直接繋がる、現在行われている一人暮らしの高齢者のための緊急通報システムの端末を主だった公園のトイレに設置すべきだと訴えました。更に樹木の繁茂への対応など、市内の公園の防犯を徹底するよう求めました。

●市民農園の管理運営について…平均2倍の競争率の6ヶ所の市民農園について、一人で複数の応募など、公平性に問題が生じているため、抽選のあり方を質し、丁寧な本人確認等事後追跡の必要性等を主張しました。また、3・4・6号線の道路用地を東京都と交渉して仮の市民農園として活用出来ないか質しました。公募のルールを広報等で徹底するよう求めました。

人にやさしい、 生き生きしたまちづくりを!

自民党・新和会 井沢 邦夫

I 市民への積極的情報提供と広報活動を進めよ
(井沢) 施政方針や財政状況・重要事業への考え方を、市民に迅速に伝え理解を得ることは大切である。市報やホームページでの情報提供が単なるお知らせではいけない。今議会で本予算が成立しない原因となっている国分寺駅北口再開発は、まさに迅速な情報提供が必要である。

II 高齢者への憩い集会施設確保と支援を望む
(井沢) 高齢者が集まれる施設は行動範囲が狭く限られている。現状社務所や自治会施設が補完している空白地域は、施設維持に努力して欲しい。また老人クラブは年々加入者が減り平均年齢も78.4歳と高齢化している。今後増加する高齢者の健康や生きがい作りのため、活動指導や補助金の継続など支援をお願いしたい。

III 難病者に対する理解と取組み支援について
(井沢) 市内に難病で苦しんでいる方が多数おられる。原因や治療法も確立されてなく、毎日不安な日々を送られている方々の状況はどうか。

(担当) 東京都認定で82種類、市内患者数は平成20年度難病者医療費助成対象者801名。

(井沢) 今までの障害者自立支援法の中では、難病が位置づけされていなかった。しかし当市は従来から一部支援が行なわれているが、今後支援はどのように継続・拡充してゆくのか。

(市長) 国においても自立支援法の中で難病が位置づけられる方向にあり、市の障害者計画の中でもしっかり支援施策を盛り込んでゆく。

IV 心身の健康増進のためスポーツ施設の確保を
(井沢) 施設が足りない、一層の努力を望む。

夢のある環境整備と 市民の安全に配慮を

自民党・新和会 田中 政義

現在の教育現状は、教育目標に沿った生徒一人一人の自主性や、心と体を育てていく為の大変充実したものであり、生徒達ものびのび、いきいきと学校生活を送っていると感じられる。教職員の皆様の努力が着実に成果を上げていると実感できるものである。

1. 小中学校の水道使用料について

問) 各地の教育委員会や議会において調査されているようだが、国分寺市の状況は?

教育次長) 各学校によってそれほど差は出ているが、プールの使用状況によって差がある。

問) 生徒達に水の大切さを教え、節水を促すように進めていくべきか?

2. 西国分寺駅東口タクシー待機場所について
問) 国分寺駅南口のタクシー待機の現状とその解消法とは?

都市建設部長) 道路上に連なって苦情も出ている。西国分寺東口の交通広場に待機して、モニターを使い、国分寺駅へ向かうようにする。

3. おたかの道湧水園、長屋門の補修について

問) 門をくぐり抜けた所の上部に落下の危険が見られるが、安全対策等は?

教育次長) 当面は危険は無い。兆候等が見られれば、封鎖して横の通用口を使用し対処する。

4. ぶんバスの外装デザインについて

問) 市内のアニメ製作会社に協力を依頼して、バスの外装にキャラクターを載せてみては?

市長) アニメを市の一つの資源と考える事は、大変貴重な提案である。調査研究していく。

業務改善への努力で 市民満足度の向上を

公明党 木島 崇

【行政改革の進捗を検証し課題を明確に】
問) 厳しい市財政の状況が続き、行政自らの努力がまだまだ求められていると感じる。そこで、21年度で終了した「集中改革プラン」をしっかりと総括し、今後の課題を明確にすべき。市民にわかりやすく説明を。

答) 対象の29事業中、9事業が遅れ。これまでも説明が不十分との指摘をうけているので、市報等に工夫をこらしてわかりやすく伝えたい。

問) 市民サービス向上のための「各課1事業」(23年度迄)は、達成状況に応じて思い切った見直しやさらなる業務改善に取り組むべきか?

答) 48事業中18事業が遅れ。進行管理を職員の人事考課制度に反映させるなどして改善する。

【南町のしごとセンター多摩と連携強化を】
問) 子育て中の母親などが安心して就労相談できるよう、託児所的な機能の設置を要望すべきか?

答) 現在、駅前の民間の託児所を利用できるが、さらに充実に向けて協議をしたい。

問) 若者向けの支援の充実や、ひきこもりに対応できる体制について協議を。

答) 4月から若者向けのジョブカフェの機能を備えたヤング情報コーナーがスタートした。ひきこもりについては課題として受けとめる。

【障害者等移動支援事業の充実を】

問) ガイドヘルパーの利用限度時間が1カ月単位で規定されているが、例えば、翌月にも繰り越せるなど、使いやすように運用の改善を。

答) 23年度以降に改正をしたい。方法については障害者団体の皆様と協議をしたい。

行財政改革と、 中小企業の資金調達について

公明党 松長 孝

1 庁舎の危機管理に関して。重要な部門の委託先の企業が、危機的経営状況になっていた。契約行為をする場合、経営状況を市に報告をする義務を課すべきだ。

2 人件費削減について。来年度、聖域なき削減を行うには、まず経営的努力をし、次に人件費を減らす。具体的な数値の目標を掲げ、取組む姿勢はあるのか? 関連して、アルバイト、臨時職員、嘱託職員は最低でもコンピューターの基礎的操作ができるが、正規職員にできない人がいる。庁内で能力を確認すべきだ。

3 市長の給与について。市長は前期10%減額を行っていた。今期は減額せず現在に至る。その差額は約700万円。減額によりワクチン代等に充てるべきだ。又、期末勤勉手当があるが、市長は果たして勤勉なのか? (皆、沈黙)。

4 市長の退職金について。約1,200万円の退職金が4年に1度支給される。廃止すべき。

5 市長交際費について。約50件の祝賀会・親睦会等の行事に血税を使い参加している。特に11月から2月に関しては、必死に職員が予算編成をやっている時期だ。ほとんど直帰している。これは今後改めていくべきだ。

6 中小企業のための新たな資金調達について。資産を持たない中小企業の動産担保(ABL)による資金調達は、金融機関の86.2%が可能性があると云っている。今後主流になっていくと思う。経済課は研究していただきたい。

以上、経済課以外は、前向きな答弁がなし。今後さらなる行財政改革を望む。

財政・再開発 市長の覚悟と責任が見えない

民主党・無所属クラブ 三葛 敦志

1. 今後の財政運営と市長責任

①でたらめな計画行政そろそろなくせ
Q. 財政計画、ごみ減量、緑の基本計画等は計画破綻だ。市民の信頼にこたえていない。

市長: 期待に応えられず、責任重い。

Q. 「庁議の決定を翌朝撤回」は朝令暮改だ。
市長: 一度決めたが不安があり変えた。

②北口再開発前に基金不足となった責任の所在
市長: 耐震対応等で不足に。行革も不十分。

③市民へ「正直な」情報を

Q. 野村證券にいた頃、上司より「株価が下がったときこそ客に挨拶に行け。それが信頼される第一歩だ」と教えられた。同じことだ。
市長: 率直に現状を伝えたい。

2. 北口再開発の責任

①事業認可をとったことを後悔しているか?

市長: この事態となり大変申し訳ない。

Q. 今後も検討期間が短すぎる。議会が7月中旬案を飲まなかったら市長はどうするか?

市長: 理解されるものを出したい。

②情報の出し方が不十分。情報公開を適切に

市長: 問題点をきちんと伝えるのは難しい。

Q. だからこそわかりやすい情報伝達を

市長: 問題を含めて示す方法を検討する。

3. 交通安全対策について

①小平市で歩道の段差解消のため一部だけ平坦にしている。車いす・ベビーカー等対応だ。

A. 今後、改修を検討する。

②東元町三丁目交差点がわかりにくい。

A. わかりにくいのが規制目的が異なる標識だ。